



〈 佐倉を知る【一】 〉 ～全部読んだあなたは佐倉通！！～

<p>ふるさと佐倉の生物 トンボ・チョウ・ カエル編 〔C48.2イ〕</p>	<p>井原英俊 著 〈小・高学年～〉</p>	<p>印旛沼を中心とした佐倉市内で生息が確認されたトンボ・チョウ・カエルについて調べ、まとめたものです。他の図鑑と比較して、佐倉という地域に限定しているところが貴重です。また写真が大きく鮮明です。観察時期や場所も詳しく書かれており、実際の場所へ観察に出かけてみたくなります。生物に詳しくなくても楽しめる本です。 【佐倉学：佐倉の自然】</p>
<p>ふるさと歴史読本 佐倉の自然 佐倉市 〔K090サ/C46.2サ〕</p>	<p>〈中学生～〉</p>	<p>佐倉には、貴重な自然が数多く残されています。これらの自然を大切に、次の世代に引き継ぐためには、どこにどのような昆虫、魚、鳥がいるのか、また、どのような植物があるのかを知っておくことが大切です。本書は、印旛沼をはじめとした、佐倉の自然についてわかりやすくかかれています。この本を持って探検すれば、さらに佐倉の自然について理解できるでしょう。 【佐倉学：佐倉の自然】</p>
<p>たんたん山 佐倉に伝わる民話 佐倉市 〔K090マ/C38.8夕〕</p>	<p>松裏善亮 著 〈小・高学年～〉</p>	<p>佐倉に伝わる話をまとめたものです。わかりやすい文体と楽しいさし絵で、子どもから大人まで幅広い世代に受け入れられています。天狗や人を化かす狐や巨人伝説が、自分達が住んでいるすぐ近くにあるというだけでも、わくわくさせられます。 【佐倉学：佐倉の民話】</p>
<p>腕時計 佐倉市 佐倉市教育委員会 〔C93.8フ〕</p>	<p>福田芳生 文 石井礼子 絵 〈中学生～〉</p>	<p>戦時中に本当にあった話です。日本を爆撃したアメリカ人M・スミス大尉は、佐倉の上空で攻撃を受け、飛行機から脱出しました。スミス大尉は日本軍の捕虜となりましたが佐倉の人から温かい支援を受けました。 【佐倉学：戦争体験】</p>
<p>臼井・千代田の今昔 昭和30年代～ 昭和50年代 〔C23.3サ〕</p>	<p>佐倉市立 臼井公民館 〈小・高学年～〉</p>	<p>佐倉市が誕生した時代から、道路や公共施設が整備されていく臼井・千代田の様子が写真で紹介されています。 【佐倉学：佐倉の歴史～写真集】</p>
<p>写真に見る佐倉 佐倉市制五十周年 記念写真集 佐倉市 〔K090サ/C23.3サ〕</p>	<p>〈中学生～〉</p>	<p>武士姿の人物から現代まで、佐倉や佐倉にゆかりのある人の写真が掲載されています。時代やテーマごとに説明文があり、佐倉を理解する上で参考となる本です。中学生から大人まで楽しめます。 【佐倉学：佐倉の歴史～写真集】</p>
<p>堀田正睦 佐倉市教育委員会 〔K289ホ/C28.9ホ〕</p>	<p>渡部八重子 著 若名さだ子 著 〈小・低学年～〉</p>	<p>堀田正睦は、佐倉藩の殿様として佐倉の教育を高めるために西洋の学問である蘭学を学ぶことをすすめました。また、日本は開国して貿易をすべきという考えを持ち、江戸幕府の責任者として努力しました。 【佐倉学：佐倉の偉人】</p>
<p>堀田正倫 佐倉市教育委員会 〔K289ホ/C28.9ホ〕</p>	<p>渡部八重子 著 若名さだ子 著 〈小・高学年～〉</p>	<p>堀田正倫は、わずか9歳で佐倉藩の殿様となりました。江戸幕府から明治政府に日本が大きく変わった時代の中で過ごしました。正倫は明治になると学校を建てて人々が教育できる環境を整えたり、農業を盛んにするなど地域のためにつくしました。 【佐倉学：佐倉の偉人】</p>
<p>津田梅子 佐倉市教育委員会 〔C28.9ツ〕</p>	<p>渡部八重子 著 若名さだ子 著 〈小・高学年～〉</p>	<p>津田梅子は、佐倉で育った津田仙の娘として江戸（東京）に生まれました。梅子は父の考えにより海外女子留学生としてアメリカに渡り、勉強をしました。日本に帰った梅子は女子のための学校をつくり、女子教育につくしました。 【佐倉学：佐倉の偉人】</p>
<p>佐倉市 郷土の先覚者 シリーズ (全25冊) 佐倉市教育委員会 〔K090/C28.9〕</p>	<p>〈小・高学年～〉</p>	<p>佐倉市にゆかりのある先覚者が各冊子ごとに紹介されています。堀田正睦、佐藤泰然、浅井忠、西村茂樹、西村勝三、佐藤尚中、堀田正倫、佐藤志津、倉次亨、津田仙、香取秀真、土井利勝、依田学海、浜野昇、手塚律蔵、津田信夫、林董、平野重久、佐波銀次郎、木村軍太郎、松本順、佐藤進、大築尚志と二人の弟、ふるさと佐倉に星と輝いた人々Ⅰ、ふるさと佐倉に星と輝いた人々Ⅱ 【佐倉学：佐倉の偉人】</p>